地域マリンビジョン目標の達成に向けた取り組み（函館（臼尻）地域）

●南茅部地域内外での定期的な鮮魚販売の実施（継続）

（1）水産業を核とした地域活性化の取り組み（地域の目指すべき姿）（Plan）		**関連資料**
地域 MV における取組の位置付け	【地域の目指す姿】 ・伝統文化の継承，都市との交流機会の拡大と PR ・豊かな海・恵まれた漁場で伝統を次世代に継承するとともに，技術を活かした新たな漁業の確立と安全で安心な水産物の供給体制の構築を目指す。 【主な取り組み】 ・地元（前浜）で当日に水揚げされた鮮魚等を定期的に販売。 ・鮮魚等の販売を継続することにより，地元イベントへの寄与	取組場所
現状における取組実施の背景	・南茅部地域の内外（地域内：垣ノ島遺跡，地域外：函館空港）で，新鮮な魚を格安な値段で提供することで，水産業や当該地域への関心をもってもらうことを目的としている。	
取組により期待する効果	・水産業の活性化や地域のＰＲ	
（2）取組内容・実施体制（Do）		
取組内容，方法，手順，実施体制	【取組内容】 ・南茅部地域の内外で，その日の朝に水揚げされた鮮魚等を浜値で販売する。 ・集客力のあるイベントにあわせて実施する。（函館空港，垣ノ島遺跡のイベントに参加） ※函館空港で行われる「函館エアポートフェスタ」では，函館市内・外の方へ新鮮な魚を格安で提供するほか，観光で訪れた道内・外の旅行者へ地元産の生きた魚を見て触れてもらい，当該地域への関心をもってもらうことを目的とする。 ※また，垣ノ島遺跡で行われる「はこだて縄文まつり」では，地域内にある温泉施設や飲食店が掲載されているガイドマップや道の駅「函館市縄文交流センター」のパンフレット配布などを実施しており，地域の特色や縄文文化と水産業の親和を目的としている。 （なお，令和７年度は熊の出没により，開催場所が函館市南茅部総合センターに変更となった。） ・函館市の魚であるイカ（スルメイカ）については，イカ釣り漁業の深刻な不漁が続いているため，函館市民にとってもめったに口にできない状況であったが，南茅部地域の定置網に漁獲量が見込めたことから，一定量を安価に提供し，函館市民にイカの味を思い出してもらう企画とした。 ・高級魚であるマツカワを安価に提供するとともに，海水温の上昇に伴い水揚げされるようになった，太刀魚，ハッカク，カガミダイ，ワタリガニなどの今まで函館地区において馴染みのない魚種（ここでは未利用魚と定義）の販売を実施し，需要の拡大にも取り組んだ。 ・南かやべ漁協・南茅部支所産業建設課・農林水産部水産課が実施。	
（3）効果項目に対する評価（Check）		
効果目標の達成度評価	・これまでも安価な鮮魚販売を継続してきていることにより，イベント主催側に集客力を期待されている状況にある。 ・スルメイカについては，函館空港で 240 杯，函館市南茅部総合センターで 480 杯入荷し，かなり早期に完売している。 ・大学生が購入に訪れ，YouTube を見ながら魚をさばいてみるとの意見が聞こえた。 ・実家の分も購入するとのお客さんがいた。	
反省点	・商品の梱包など，空港でのイベント開催なので，道内外の旅行者への販売方法も含め検討の余地がある。	
（4）取組の改善措置（Action）		
取組内容の改善点	・今後，垣ノ島遺跡で実施のはこだて縄文まつり主催者である（一財）道南歴史文化振興財団へ協議会へ加入するよう依頼しているので，主催者の観点から本取り組みに関する意見などを聞き，取り入れていきたい。	
取組の実施に必要なもの	・体制が浸透するまでの時間	

【取組の様子】

○取組状況　函館空港内

○取組状況　垣ノ島遺跡

●臼尻漁港クリーン清掃活動の実施（継続）

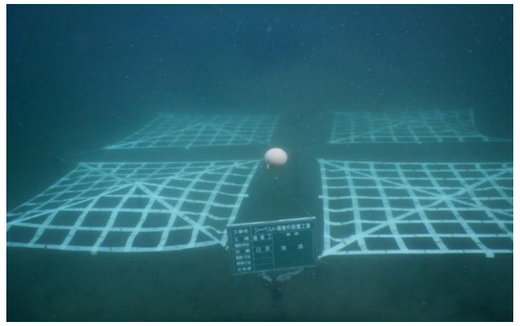
<table>
<tr><td colspan="3">（1）水産業を核とした地域活性化の取り組み（地域の目指すべき姿）（Plan）</td><td>関連資料</td></tr>
<tr><td>地域 MV における取組の位置付け</td><td>【地域の目指す姿】
・海域の環境保全への寄与，CO2 削減効果を検証 PR
・伝統文化の継承，都市との交流機会の拡大と PR

【主な取り組み】
・水産物の衛生管理体制強化，クリーン作戦継続</td><td>取組場所
 </td><td>【取組の様子】

〇取組状況　臼尻漁港内

</td></tr>
<tr><td>現状における取組実施の背景</td><td colspan="2">・漁港施設のクリーン清掃活動を通じて水産物の衛生管理強化の意識向上をはかり衛生管理流通拠点機能の増進を図る。</td></tr>
<tr><td>期待する効果</td><td colspan="2">・衛生管理流通拠点機能の増進</td></tr>
<tr><td colspan="3">（2）取組内容・実施体制（Do）</td></tr>
<tr><td>取り組み内容，方法，手順，実施体制</td><td colspan="2">【取組内容】
・漁業者や漁協職員が盛漁期前に漁港区域内の清掃活動を行っている。
・漁港を利用している漁業者（家族を含め）漁協職員総出で，盛漁期を前に区域内の清掃活動を実施している。
・令和7年6月4日（水）午前8時～11時の3時間　約50人で実施。
・春季には，人口地盤駐車スペースにある側溝やグレーチング清掃を漁協職員で実施し，定置漁業従業員により，定期的に漁港施設への散水を実施している。</td></tr>
<tr><td colspan="3">（3）効果項目に対する評価（Check）</td></tr>
<tr><td>効果目標の達成度評価</td><td colspan="2">・衛生管理流通拠点漁港として日頃から漁業者などの衛生管理意識向上に寄与している。</td></tr>
<tr><td>反省点</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="3">（4）取組の改善措置（Action）</td></tr>
<tr><td>取組内容の改善点</td><td colspan="2">・特に今年度は，北海道内で台風や大雨被害により，漁港内や漁港周辺に流木の漂着が非常に多かったため，漁業者や漁協職員で陸揚し，切断処理・廃棄（2回）を実施することとなったのだが，再三の漂着があったため，漂着から処理まで時間がかかってしまった。</td></tr>
<tr><td>取組の実施に必要なもの</td><td colspan="2">・漁港管理者（北海道）の協力（現在も協力していただいている。）</td></tr>
</table>

●天然コンブ繁茂対策の実施（継続）

（1）水産業を核とした地域活性化の取り組み（地域の目指すべき姿）（Plan）		関連資料
地域MVにおける取組の位置付け	【地域の目指す姿】 ・海域の環境保全への寄与 【主な取り組み】 補助事業等 〇天然コンブ繁茂対策（漁協（市補助）） 〇雑海藻駆除（岩盤清掃等）（漁協（市補助）） 〇ウニ密度管理（漁協（市補助），市）	取組場所
現状における取組実施の背景	〇昨今の気候変動や自然災害等の発生により、本市の天然コンブ資源は壊滅的に減少している。 天然コンブが養殖コンブの母藻となるため，南茅部地区の9割以上を占める養殖コンブの安定生産へも影響が生じ，資源の減少により， 本市漁業者の多くが従事するコンブ漁業が衰退し，漁業基盤の崩壊につながることから，継続的な藻場の保全が重要な課題となっている。 天然コンブ藻場の再生を促すため，岩盤清掃（雑海藻駆除），種苗設置，胞子散布などの天然コンブ繁茂対策に取り組むものである。	
期待する効果	・天然コンブなど藻場の再生による本市漁業の基盤維持	
（2）取組内容・実施体制（Do）		
取組内容，方法，手順，実施体制	【取組内容】 〇天然コンブ繁茂対策（漁協（市補助）） 天然コンブ資源再生のため，昆布の種苗設置や胞子散布を実施した。 ・2年養殖コンブの種苗をシーベルトに仮植して海底から1ｍの位置に設置。 ・成長したコンブから胞子が放出されコンブの母藻として付近に藻場が再生することを想定している。 〇雑海藻駆除（岩盤清掃等）（漁協（市補助）） ・コンブの遊走子が着生，育成しやすい環境を作るため，岩盤清掃等により雑海藻の駆除を行った。 〇ウニ密度管理（漁協（市補助），市） ・天然コンブへのウニの食害を防ぐため，海中に生息するウニを潜水士により移動させることにより，ウニの食圧を低下させ天然コンブの資源回復を図ることで，藻場の再生に取り組む。	
（3）効果項目に対する評価（Check）		
効果目標の達成度評価	一部の漁場に回復の兆しが見られた。（右中段の写真参照）	
反省点		
（4）取組の改善措置（Action）		
取組内容の改善点	〇ウニにより生計を立てている漁業者もいるため，一部の方に理解が得られない場合がある。	
取組の実施に必要なもの	〇漁業者への粘り強い説明・説得 〇事業を維持できようにするための資金	

【取組の様子】